

「地域未来プロジェクト企画」

トヨタカローラ苫小牧と日本CCS調査の環境・SDGsについての取り組みを発信

トヨタカローラ苫小牧は、カーディーラーとして「SDGs」「脱炭素化」を後押しする方針を取り決め、2021年2月2日に正式に取り組みを宣言しました。水素で走る燃料電池車「MIRAI(ミライ)」を企業などに無料貸与し、身近な水素を広く体験できる仕組みを促すなど、環境に優しい取り組みに力を入れています。

地域連携を意識している同社は、「SDGs」「脱炭素化」という同じゴールを目指す地場の企業との対談を希望。調整の結果、苫小牧の海底下で二酸化炭素を有効利用し、貯留する経済産業省の実証実験を行っている、日本CCS調査とのトップ対談が実現しました。

異業種の2社ですが、地域企業同士として今後協力しあえることや、「水素」という共通の切り口で環境保全に貢献できる可能性について話が及びました。紙面ではこの対談の他、脱炭素と産業振興の両立に向けて取り組んでいる、苫小牧市のコラムも掲載しました。

さらに、トヨタカローラ苫小牧と日本CCS調査は、今回の対談記事体を各々のHPに掲出し、URLを貼り合うなど双方向の連携も実現。今後2社は苫小牧市やトヨタ北海道の協力も含め、市内の小学生向けにSDGsをテーマとした工場見学会を計画しており地域連携の輪が広がっています。

新聞社がSDGsをテーマとして地域の企業同士を結ぶ一助となった本企画は、あと2回の連載を予定しています。

(苫小牧支社営業部 小川寛子)

* SDGs(持続可能な開発目標)に関連した取り組みの発信など、北海道新聞にぜひご相談ください。

◆お問い合わせ／北海道新聞社営業局 (TEL011-210-5713) または 各支社営業部へ (2021.5)

* ウェブサイトにバックナンバー掲載中! 【道新 営業局】で検索! (https://adv.hokkaido-np.co.jp/)

POINT!

(2021年4月24日 朝刊 日版全15段)

地域に根ざした企業活動を展開
環境価値(NEDO)の事業実証により、2012年より苫小牧でCCS実証実験を実施しています。苫小牧市は多くの産業工場が共存する街。脱炭素社会の実現を目指す地場の企業を通じて、苫小牧市の発展に寄与できたいと考えています。

「これからは何を?」地域未来 PROJECT
明確くて豊かな暮らしを、子どもたちにも、私たちにも。同じゴールを目指す2つの企業のトップ対談 [第1回]
地域と環境に寄り添う企業を目指して

「CCS技術で脱炭素社会の実現に貢献します」中島 健三さん
「地域の持続的発展のために行動する企業でありたい」野中 浩之さん

トヨタカローラ苫小牧株式会社
日本CCS調査株式会社

7日 クルマで わくわくコンテスト 最優秀賞・店長賞発表!!
たごさんのご応募ありがとうございました。
作品出品期間 5月30日(日)まで 発表会場 カローラ苫小牧 各店舗の掲示板

POINT!

(2021年4月24日 朝刊 日版全15段)

(苫小牧支社営業部 小川寛子)

* SDGs(持続可能な開発目標)に関連した取り組みの発信など、北海道新聞にぜひご相談ください。

◆お問い合わせ／北海道新聞社営業局 (TEL011-210-5713) または 各支社営業部へ (2021.5)

* ウェブサイトにバックナンバー掲載中! 【道新 営業局】で検索! (https://adv.hokkaido-np.co.jp/)